

しんめいばら

回 覧

第 158 号
2018.6.20

定期整備!

六月三日(日) 今朝は初夏のような暑さとなりましたが、会員他二十三名の参加により整備を行いました。大型の芝刈り機が故障となったため、公園一面に伸びた雑草や周囲の花木などを町内会役員のご尽力で数日前より小型の芝刈り機を使って刈り上げていただき、すっきりとした風景の公園が戻ってきました。また、先日種を播き、発芽したサルビア、マリーゴールドをポットに移植する作業などを行い、冷たいお茶を飲み一息入れて残りの作業に元気で取り掛かりました。



木陰で苗づくり!



ヤマモモの実の掃除も体験!

子供会と共に!

六月十七日(日) 春の陽気が戻った朝、子供会との共催で二回目の整備を行いました。多くの子供達や父母の皆様が集まり、公園北側の雑草取りや藤棚下の休憩スペースに大量に落ちたヤマモモの実や落ち葉の清掃作業に一生懸命取り組み、ご褒美のお菓子とジュースをいただき解散。一方会員は七月に苗を植栽予定の六ヶ所の花壇に肥料を混ぜた大量の培養土を入れ、流石に皆疲れを隠せず、これまでになく大変な作業を体験しました。

豆知識!

『長日植物(ちようじつしよくぶつ)』寒い季節にも花を咲かせる植物はありますが、多くは春からが花の季節です。花が咲くのは気温が上がるから、というのは、ある意味で正しいでしょう。日の長さの影響されず、成長すれば花芽を作る植物を「中性植物」といいます。先月号で短日(たんじつ)植物の紹介をしました。日が短くなると花が咲く(本当は「夜が長くなるから」)植物。ナメシ科のカーネーション、カスミノウなどのように日が長くなると花芽のできないものがあります。長日植物といえます。大事なのは昼の長さではなく夜の長さです。暗闇の時間が短くなることが花芽の形成に影響を促しているのです。このような植物は、種まきが遅れると最も日の長くなる夏至前までに成長が間に合いません。種まきには適期があります。



カーネーションは長日植物!
(写真は図鑑より)

今日の公園!



アジサイの季節が到来!



お知らせ!

- 七月の公園整備は一日(日)及び十五日(日)の二回です。花苗植栽、施肥などの作業を行います。
- 七月の回収、ビン・缶は二十四日(火)、古紙は二十二日(日)です。町内会の回収活動にご協力下さい。
- 高松神明原公園愛護会は現在二十五名の会員により公園の美化活動に取り組んでいます。町内会員に限らずどなたでも入会が出来ますので、ぜひご参加下さい。

連絡先・二三七五一八一 山本まで